

Aー 本当はこういうの置くと、緊張してしまうんで、すいません。

事前に書いてもらいましたシートに関連しまして、いろいろお聞きしたいんですけど、非常に私、スズキさんを見てよく書いていただいたんですが。

スズキ そうなんですよね。びっくりしました。私そんなに書いた覚えはないんですが。

Aー 他の人にはちょっと見せられませんけど、少なくともこの3日間の中では一番よくきちんと、私の思ったたとおりの理想的な感じで書いていただいているんで。

スズキ ありがとうございます。

Aー 助かったんですけど、大体どれくらい時間かかりましたか。

スズキ 書き始めるのには、ちょっとどういったことを書こうか迷っていたんですけど、書き出してからは(#####@00:01:30)もかからなかったです。

Aー なるほどなるほど。考えてから、ちょこちょこ考えてからでも。

スズキ そうですね。

Aー 書き出してからは1時間程度と。

スズキ そうですね。

Aー はい、ありがとうございます。

書き終わった後、何かこんなことに気付いたなとか、感じられた感想とかってありましたか。

スズキ 『有益な人』を書く欄ですけども、そちらで有益な人っていうと、自分がいい思いをしたという思い出が思い浮かんで、こういうふう to 育ててくれたんですとか、こういうふう to 優しく励ましてくれたっていうふう to 思い浮かぶんですけど、中でも特殊な例で、本当に厳しくたたかれるということをいくと、思い浮かんで、そのたたかれるという点は(#####@00:02:14)イメージなんですけども、それのおかげで逆に認めさせてやろうとかですね。

Aー そうですね、お叱りいただきますよね。

スズキ そういうことが自分にとっても有益だったなと思うことがあったので、やはり自分も大学のときとかは部長ですとか、テニスコーチとかを経験してきて、褒めたり励ましたりとかだけじゃなく、厳しくたたか、(#####@00:03:48)ということの大事さも分かっていたつもりなんですけども、あらためて分かりました。

Aー そうなんですよね。それを書いているということが特徴的で、なかなかいないですね、そこに目を向けている人っていうのは。面白いなと思ったんですけどね。

スズキ そうですね。自分が部長とかっていうまとめる立場になったことがあるもので、怒り方の難しさとかも、十分、怒んなきゃいけないことも分かっているんですけど、怒れなかったというのがあったので、大事なことだなと思っているんですよね。

Aー そうですね、学生時代、ちょっとそういうことを経験したことがあったので、そういう視点があったということなんです。

学生時代はテニスをしてらっしゃったということですか。

スズキ はい。前職がテニスのインストラクターなんで、社員でやっていたので、子どもを叱らなきゃいけないときもありますから。

Aー 怒り方のコツとかというのも、ご自身の中にあるんですか。

スズキ やっぱり、やんわりとした甘いところを捨てて、がつんと言わないと聞かないというがあるので、褒めることのほうが重視してやっていたけども、やっぱり本当にちゃんとしてほしいですから、怒るといのは絶対あるので、怒るときは甘えなく怒るようにはしていました。でもちゃんと終わった後に、「よくなったね」とか「頑張ったね」といのは、言うようにはしてましたけど。

Aー なるほど、分かりました。そんなところですかね、全般的な感想というのとは。

スズキ そうですね、ぱっと思い付いたのは。

Aー はい、ありがとうございます。

スズキ ありがとうございます。

(了)